

科目名	小 児 保 健	教員名	藤澤 和子	開 講	保育科	2年次	前 期
<p>・科目概要</p> <p>目標：子どもの健康及び安全に関わる保健計画の作成と記録の取り方を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・子どもの保健と環境についての理解を深める。 2・集団保育における感染予防と健康管理。 3・障害のある子どもへの適切な対応を学ぶ。 4・事故防止及び健康安全管理や心と体の健康管理作り、地域保健活動に関しても学ぶ。 5・具体的な演習を通して習得した知識技術を、保育の実践の場において応用できる能力を養う。 							
<p>・授業計画 [単位数：1 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．子どもの保健と環境について（生活環境と健康：人体・物理・地球規模での環境問題） 2．わが国の健康増進対策（母子保健法、すこやか親子21、エンゼルプラン、食育基本法） 3．ライフスタイルと健康づくり（健康障害因子：栄養素の偏り、運動不足、社会環境要因） 4．健康状態の観察と記録、子どもの成長発達の評価（身体、生理機能、精神・運動） 5．発達障害児（心身症、ADHD、LD、PTSD、他）の理解。 6．こどもの養護（栄養、ミルクの与え方） 7．"（排泄、オムツの当て方） 8．"（衣服の着せ方、脱がせ方） 9．"（身体の清潔、沐浴の仕方） 10．障害児の介護（車椅子介助） 11．子どもによく起こる症状の看護（発熱、咳、下痢、嘔吐、便秘、けいれん、他） 12．子どもの事故と応急処置の実際 13．子どもの心肺蘇生法の実際 14．集団保育における事故防止及び感染予防の安全管理、リスクマネジメント。 15．児童福祉施設の保健活動（保育所、児童養護施設、知的障害児施設）と保健計画。 							
<p>・講義の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの他に最近の社会情報を取り入れ、資料を配布していく ・演習を随時入れていく。体験そのものが学習の基本となるので各自が積極的に演習に望む姿勢を重視する。 							
<p>・試験と成績評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回のミニレポート・期末レポート ・授業中の態度（聴く姿勢） 							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う子どもの健康・安全を常に念頭におき、環境問題、国の政策、地域社会まで視野を広げ理解すること。 ・学内演習を通し技術に自信をつけ、保育実習で自己の能力を十分発揮できるよう、積極的に授業に参加してください。待ちの姿勢からは習得できるものではありません。 							
<p>・使用教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書：改訂『小児保健実習』 佐藤 益子・他 編著（ななみ書房） ・その他：必要に応じ資料配布 							